



しっかり立つために

校長 夏見隆晴

保護者の皆さま、新年おめでとうございます。またご家族ご一同様のご健康を祈念いたしますとともに、わたしたちへのご指導のほど本年もよろしくお願ひいたします。

さて2014年の年頭に当たり、生徒たちには「自分がしっかり立つための眼力」を身につけてもらいたいというのが、わたしの願っていることであります。今という時代はとりわけ、「何が正しいことなのか」という判断の基準が曖昧になっているように感じられます。残念ながらわたしたちも含めて大人自身が、しっかりした判断の基準の上に立って指導していないと認めざるをえないのが実情でしょう。

でもこのような状況はイエス・キリストの時代にも、同じであったようです。キリストは述べています「あなたがたは地や空の現象を見分けることを知りながら、どうして今のこの時代を見分けることができないのですか」(ルカの福音書12:56)と問いかけているのです。当時も、初歩的なものではあったのですが自然現象に基づいて天気予報を出すことはできていたようです。けれども「時代の予報」ということでは、人々は今日同様に困難を感じていたのでしょう。

新約聖書には、イエス・キリストや弟子たちの言葉を通して時代を見分ける手掛かりとなる教えが、数多く見受けられます。というよりも、神の子イエス・キリストが人間となってこの世にいられたという事跡は、時代を見分ける目の必要性をわたしたち人間に教えるための愛そのものであったのではないのでしょうか。時代を見分ける目を持って、しっかり立っていなければ、わたしたちは今にも流されてしまいそうな世の中を生きています。

今わたしたち大人は、どれだけ若者たちに向けて時代を見分ける目を正しく伝えるように努力しているのでしょうか。もしかして親や教師は、子供たちの将来を考えてという美辞麗句のもとに、人に先んじて利を求めようことだけを教えているということはないのでしょうか。人は一人では生きられないのです。人を大切にすると愛ある人間だけが、人からも愛されるというごく普通の考えを教えきれていないということはないのでしょうか。今の時代に自分がしっかり立つための眼力が必要であることを、ご家庭でまた学校で生徒たちにしっかり伝えてまいりましょう。

時代の流れの中でしっかり立つためには、当然広いそして堅固な足場が必要です。ところが今の若者たちは、安直で狭い足場で満足し、大きなことは望まないという傾向があります。それでは到底しっかり立つことは望めません。もっともっと大志を抱いて欲しいと、わたしは望んでいます。今年の全国高等学校ラグビー選手権出場を果たした進学校のモットーは「少なくとも三兎を追え」というものだそうです。



「海の宝石箱」

社会科 譜久村 明美

忙しさを理由に自然と触れ合う機会が少なくなる中、我が家では子ども達にできる限り様々な経験をさせることを教育方針の一つとしている。これまでに、糸満市の有機栽培ニンジン農家の収穫体験や玉城村での黒糖作り、伊平屋島での足踏み式脱穀機を使用した稲作体験など、どれも貴重な思い出ができた。

そして、11月末、寒風吹きすさむ中、深夜の「ウミホタル」観察会に参加した。潮が引くのを十分待って泡瀬干潟を沖へ1時間半ほど歩き、運が良ければ「ウミホタル」に出会えるというコースだ。昼間、何度か訪れた時には決して見ることはできなかった神秘的な世界がそこには存在しており、改めて自然の偉大さに感動した。辺り一面には、つくしの形に似ている「イソスギナ」や貝の卵塊が作りだす「砂茶碗」、凶鑑でしか見たことのない「イジマウミヘビ」などを見てとても興奮した。持っていた懐中電灯の明かりを消した瞬間、これまで歩いてきた海の散歩道に天の川が降りてきたような、キラキラと光り輝く道ができていた。多くの夜光虫が創り出した幻想的な風景の中、時折、青白く光るものが混ざり合っている、「ウミホタル」だった。一言で表現するならば「海の宝石箱」といった感じである。こんなにも豊かな自然があるということ。それを守り伝えなければならぬ責任があるということを実感した。

そう遠くはない近い将来、私の子ども達が大人になった時、「私の財産は子ども達なの」と胸を張って言える教育をしたいと思っている。だからこそ今、大変でも多くの経験をしたり、難しくても一緒に考えたり悩んだりすることをしっかりとやり遂げたい。そして、今、私の目の前にいる生徒達にも我が子が接するのと同じ気持ちで向き合っている。



1月の予定



日・曜日	行事計画
8日(水)	完全下校16:30
10日(金)	PUP (LHR) Kパック4年~6年
11日(土)	総合 平和学習 Kパック6年 保護者会主催新年会(午後1時30分~)大会議室において
14日(火)	本校前期入試出願 ~17日(金) 午前9時~午後5時
18日(土)	本校前期入試 家庭学習日 センター試験 ~19日(日)
20日(月)	高3自己採点 個人面談 総合学力 4 5年生
21日(火)	高校修学旅行 ~25日(土)
25日(土)	英検 3h 1年~4年生
29日(水)	完全下校16:30
31日(金)	漢検

生徒の頑張り！

第30回ピアノ・オーディション 沖縄地区予選

<地区優秀賞>

中学2年生 宮城 勇佑 君

2014年3月26日(水) 27日(木)東京音楽大学 J館スタジオにて行われる本選に出場します。本選でも上位入賞となりますよう、応援をお願いします。

第22回ぎのわんの文化財図画作品 中学生の部

<銅賞>

中学1年生 富川 真由 さん

3年生 金城 凧香 さん

<入賞>

中学1年生 安里 聖人君 平川 真生乃 さん 松田 千秋さん

2年生 宮城 勇佑 君 3年生 平川 将義 君

第61回全琉小・中・高校図画作文書道コンクール 書道の部

<優秀賞>

中学1年生 外間 栄美 さん

<優良賞>

中学1年生 渡久地 礼李 さん 外間 光 さん

高校1年生 宮城 亜凜 さん

第12回「おきなわの観光」絵画コンクール

<入選>

中学2年生 石川 勇太 君



第33回全国中学生人権作文コンテスト沖縄県大会

<沖縄県人権擁護委員会協議会長賞>

中学3年生 上江洲 まりの さん

2014年平成 26年 干支：甲午(きのうま・こうご)

<年の初めの行事>

七草がゆ(人日の節句)1月7日



昔の人は元日から続く6日間は神のための日であり、その後に人の日が始まる、と考えていた。

7日は、人の日の初日である『人日』

この日に無病息災を願って春の大地の恵みに満ちた7種の野草を食べたのが、七草がゆの始まり。

七草(ななくさ)は、7種の野菜(芹、薺、御形、繁縷、仏の座、^{せり なすな ごぎょう はこべら} 松、^{すずな}

^{すずしろ} 蘿蔔)を刻んで入れたかゆのこと。邪気を払い万病を除く占いとして食べる。呪術的な意味ばかりでなく、お節料理で疲れた胃を休め、野菜が乏しい冬場に不足しがちな栄養素を補うという効果もある。

